

2010年

TS-タカタ3H軽耐久走行会

告知します

と異なります。

- ・ 上記の申し込み先に書留、振込(エントリー用紙は郵送)、または持参すること。電話、FAXでの受付は出来ません。

- ・ 締め切り以降の申し込み、書類不備がある場合も受理しません。

◆種目

軽4輪自動車による3時間耐久走行会

- ・ 受理後の参加料は主催者の都合で走行会を中止した場合を除き返金されません。

◆開催場所

TS-タカタサーキット
広島県安芸高田市高宮町原田 1378-3
TEL:0826-59-0055

- ◆参加者の遵守事項
 - ・ 走行会中の飲酒、神経に影響を及ぼす薬物の服用を禁止する。

◆開催日

- ・ 第1戦 4月11日
- ・ 第2戦 6月13日
- ・ 第3戦 8月22日
- ・ 第4戦 10月24日(6H耐久)

- ・ パドック内では火気厳禁。喫煙、火気を使用するの飲食物は各チームのパドックのみ許可する。

◆主催者 & 申し込み先(事務局)

オートワークス カジオカ (代表)梶岡 悟
〒731-5152 広島市佐伯区五日市町石内
1638-2

- ・ 積載車は車輻降車後速やかにサーキット入り口のトラックパドックに移動すること。

◆参加資格

- ・ 普通運転免許証所持者。
- ・ 未成年者は親権者の承諾を得ること。(申込書に親権者の捺印必要)
- ・ ルール、モラルを遵守し、走行、観戦できる人。

- ・ パドック内は競技車1台につきサービスカー1台もしくはテントスペース1張り分とする。(チームで数台エントリーされる方はスペースの節約に御協力下さい。混雑する場合は制限をすることがあります)

◆参加料、申し込み方法、期日

- ・ 1チーム(1台) 30,000円
(ドライバーは2名以上なら何人でも可)
- ・ 第4戦の6H耐久は別レギュレーションにて

- ・ 著しくルール、マナーを守れないチームには今後出場拒否をする場合があります。

◆参加台数

- ・ 参加台数により4クラス合計で約45台、それ以上の場合は午前、午後と2グループに

分ける場合がある。

- ・ **締め切り時点の参加台数により決定する。**
- ・ 参加拒否されたチームは事務経費1000円を差し引いた額が返金される。

◆クラス区分

NN：(ナンバー問わず) NAのノーマル
NT：() 過給器付きのノーマル
CN： NAの改造車
CT： 過給器付きの改造車

* **ノーマルクラスの車両でも改造クラスへのエントリーは自由です。**

◆共通車輛規則

- ・ 軽自動車として一般市販された車両を使用すること。(軽トラ、1BOX、は不可)
- ・ ラジエーターの変更は自由だが確実に取付けること。
- ・ オイルクーラーの追加も自由、但しフロントで損傷しにくい場所であること。
- ・ ブローバイホースは大気開放してはならない。吸気に戻さない場合は、しっかりと固定したオイルキャッチタンクに接続

する事。(転倒時オイル漏れを起こさない構造であること)

- ・ 容量2L以下のコレクタタンクを取付けることが出来る。(安全性に十分配慮すること)
- ・ 音量は如何なる場合も95dB以下であること。
- ・ マフラーの出口は後方のみで消音器(サイコ)を必ず一個以上備えること。
- ・ タイヤ・ホイールは車幅よりはみ出したり、他の部分と接触してはならない。
- ・ タイヤは当該走行時間・距離に耐えうる物を装着して出走すること。
- ・ 灯火(ヘッドライト、ウインカー、ブレーキ、バック)類は正常に点灯すること。
- ・ 車輛の前後に牽引フック(純正も可)が装着して有ること(フックがバンパ内や下方に在る場合は、牽引ロープ等が簡単に取付出来るように加工して下さい。牽引中における破損は如何なる場合も責任を負えません)。
- ・ フロアマットは取外し、カーペットは固定するか取外すこと。

・ オープンカーはロールバーを装着すること。

- ・ **ロールバー装着車については別紙ハンドレイの欄を参考の事。**
 - ・ 後方確認の出来るミラーを左右に備える、ルームミラーも備えること。
 - ・ バケットシートの装着を強く推奨する。
 - ・ シートベルトは4点式以上を装着すること。後ろがYタイプも可。
 - ・ シート・シートベルト・バッテリーは堅牢なる取付がされ、バッテリーは室内から完全に隔離されている場所であること。
 - ・ バッテリーの+端子は、しっかりと覆われていること。
 - ・ フロントガラス、運転席側ガラスの変更は許されない。
 - ・ 競技中、運転席側のガラスは(ネット等の装着有無を問わず)全閉とすること。
- ◆ **NN・NTクラス**
- ・ 一般的な車検に適合する車輛で、著しい軽量化(ボンネット・ドア・フェンダー・ハッチ、ガラス等の変更 軽量化を伴う加工)、改造がされていない車輛をいう。

- エンジンに手を加える事は一切禁止。
- エンジン・ミッションマウントの材質を変更しなければ交換は自由。
- エアコン、アンダーコートなどの取り外しは可能だが、ヒーターの取り外しは禁止。
- 助手席、後席は現地にて取り外し自由。
- ドアの内張りは取り外せない。リヤトリムは現地にて取外しは自由
- ナンバー付車輻でエントリーの方は、公道を走行するときには自己責任に於いて一般車検に合致する状態に必ず戻すこと。
- スリック、Sタイヤ、スリップサインの出たタイヤは使用不可。
- インチサイズは14インチまでとする。
- 楽しくイベントを行うため、明らかな性能差が認められた車輻には、何らかのハデイを指示する場合がある。

◆CN・CTクラス

- 明示されていないもの以外は基本的に自由。ただし“耐久走行に危険を伴う”と主催者が判断した車輻は、修正し再車検での合格を受けなければ出走不可となる。

例えば、突起物の装着、部品の脱落、エンジントラブルやオイル漏れの懸念など、当該車輻のみならず他の車輻またはドライバーに危険を及ぼす可能性があるもの。

- エンジン、ミッションは同一メーカーの軽自動車に搭載されている物であれば変更は自由。
- Sタイヤの使用を認めるが14インチまでとする。
- ヘッドライトは安全上、最低片側は点灯すること（片側の取り外しはOK）。
- ボンネット・トランク・ハッチの材質を変更や加工をした場合は、ボンピン等の装着を推奨する。無い場合は、ガムテープで動かないようにテーピングでも可。ただし走行中に安易に開かないよう、確実に貼り付ける事。

- フロント・リヤバンパーの取り外しは不可。

- ロールバー並びにサイドバーの取付を強く推奨する(ドアを変更した場合は必須)。
- 内張り(材質の変更自由)はドライバー側のみ必要。

- 30L以下の安全タンクへの変更は可。その場合、確実な取付・配管をし、確実に作動する2kg以上のABC粉未消火器を備えなければならぬ(総数2本迄でドライバーが座ったまま取り出せる位置に確実に付けること)。

- 上記以外でも、主催者が危険と判断した場合は修正を命ずる場合があり、命ぜられたチームは修正し、主催者の再確認を受け合格しなければ出走できない。

◆ドライバー装備

- 2年シリーズからドライバー全員長袖のツナギ(1ピース)を着用する事。
- レーシングスーツ・レーシングシューズ・レーシンググローブの着用を強く推奨する。
- ヘルメットは最低限JISマークの有る物。(ラベルの確認できない物の使用は不可) 半キャップ型も不可。

◆予選走行

- 午前、午後と分けた場合は行わない。グリッド順はエントリーの早いチームが前になる。

- ・ 約4.5台以下の場合スタートグリッド決定の予選をクラス別に分けて行う。

- ・ 予選タイムの良かったものから順に前から並ぶ（クラスは混合となる）。
- ・ これに対する抗議は一切受け付けない。

◆耐久走行

- ・ スタート10分前にピットクローズとする。オフィシャルの指示により順に各グリッドに着くこと。コース上での作業はクラス拭き、タイヤ増し締め以外ドライバー交代、給油を含め一切許されない。
- ・ 予選走行出来なかったチーム、ピットクローズドまでにコースインが出来なかったチームはピットスタートとなる。

- ・ 走行中著しい違反行為（プッシング・進路妨害等）、信号旗無視、車輻不備が認められた場合は、ペナルティ―指示や失格とする場合がある。

- ・ 状況によりレスキューやセーフティカーが入る場合がある。その場合も計測は止まらず、競技時間内とカウントされる。セーフティカーがトップを捉え、隊列が整い問題解決後、再スタートとする。

- ・ 1人のドライバーが、90分以上の連続走行を行ってはならない。

- ・ ドライバー交代は各自のピット、給油エリア又は指定されたエリアで行うこと。

- ・ パドック入り口より1速ギヤ使用で速度は20Km/h以下の徐行とする。オフィシャルが危険と判断した車両、チームには、ペナルティ―を課す場合がある。

- ・ ピットレーンおよびパドックではバックギヤの使用禁止。車両をバックさせる場合は、人の手により押す事。その場合、周囲の安全に充分注意する事。

- ・ 各チームは、2回以上のドライバー交代を行わないといけない。

◆給油

- ・ 予選走行終了したチームは自車パドックにて給油すること。

- ・ 耐久走行会がスタートしたら指定された場所でのみ出来る。

- ・ エンジンを止めドライバーが降りドアを閉め、他の作業員が給油口に消火器を構えてから給油できる。

- ・ 給油中は如何なる作業も禁止する。

- ・ 給油は各チームにて一般市販の金属製ガソリン携行缶を用意すること。給油装置は如何なる改造も施してはならない。

- ・ 給油量は1回につきNN・CNクラスは5L、NT・CTクラスは10Lとする（ガソリン量は主催者が計測します。5Lの携行缶が準備出来無いチーム、当日クラスが変更になった場合は主催者が用意したものを使用して下さい。ただし各クラス1～2個位です混雑すると順番待ちになると思われるので出来るだけ各自で用意して下さい）。

- ・ 漏れたガソリンは確実に拭き取って下さい。

◆再車検

- ・ 必要に応じて行う場合がある。

◆抗議

- ・ レース終了後の抗議は、如何なる場合も受け付けない（ただし次回以降の参考意見として問題点などがあった場合はお聞かせ下さい）。

- ・ 車両破損、トラブル、怪我に対するクレーム、抗議、保証の請求も一切受け付け

ない。

◆ ポイント

- ・ ポイントはゼッケンに与える。
- ・ シリーズ順位はポイントによって決定する。ポイントは各戦ごとの1～10位のチームに与える。1位より20・15・12・10・8・6・4・3・2・1ポイント、並びに完走チームに参加ポイントとして5ポイントを与える。(完走とは、そのチームの周回数が、クラス優勝チームの70%以上の周回をしたチームのことをいう)
- ・ シリーズ途中でクラス、ゼッケンを変更した場合ポイントは継続できない。

◆ その他の規則

- ・ 参加者が楽しく走れるよう考えた走行会で、安全を最優先に考えて行いたいので、当日特別規則を提示することもありますのでご協力下さい。

ゼッケンについて

各チームにおいてゼッケンを作成、張付けし事務局に申請、登録してもらいます。貼付ける位置はボンネット、ハッチ、左右フロントドアの計4枚で、大きさは約260×350の枠内に収まる読み易い字体です。
(CTクラス) 000～099番まで
(NTクラス) 100～199番まで
(CNクラス) 200～299番まで
(NNクラス) 300～399番まで

排気音量について

近隣住民に配慮し走行会中にマフラーの脱落、破損により95dBを越えた車両は如何なる理由に問わず走行できません

ノーマルクラスの改造範囲について

以下の変更箇所をポイント制にし 6ポイント以上変更のある車両については改造クラスに移行してもらいます。

- * フロントバンパー、リヤバンパーの加工
- * ダッシュボードの加工
- * LSDの取り付け
- * バッテリー (**ドライタイプも含む**) の移設 (移設した場合難燃性のBOXで覆い、確実に室内から隔離されていること)
- * 後部座席の内張りの取り外し
- * 触媒付き車両の触媒取り外し
- * エンジンコンピューター (サブコン及びそれに付随したも含む) の変更。
- * 足回りの材質がゴム以外のもの (ピロアッパも含む)。
- * EXマニ (タコ足等) の交換 (純正品は除く)
- * T/Mギヤ比 (ファイナルも含む) の変更または加工
- * エアークリーナー (BOXも含む) の変更、加工